

# 履修ガイド

## 1. 単位・授業について

卒業するために最低必要な単位数

人間コミュニティ学科	教養科目 30 単位	専門科目 38 単位	合計 68 単位
保育学科	教養科目 13 単位	教育専門科目 52 単位	合計 65 単位

授業の時間

本学における「授業」時間は 45 分を 1 時間とし、90 分で 1 校時と数えます。

授業の形態

授業形態	1 単位あたりの授業時間数	授業時間外の学習時間
講義	15 時間	30 時間
演習	30 時間	15 時間
実習・実技	45 時間	自主的学習

※シラバスに授業形態や授業時間外の学習について記載しています。

## 2. 成績評価基準・GPA 制度

成績評価基準

評語・評価基準	得点	GP
AA : Excellent (基準を大きく超えて優秀である)	100~90	4
A : Very good (基準を超えて優秀である)	89~80	3
B : Good (望ましい基準に達している)	79~70	2
C : Passed (単位を認める最低限の基準に達している)	69~60	1
D : Failing (基準を大きく下回る)	59~0	0

GPA 制度とは

学習の成果を総合的に判断する基準です

成績評価の AA…4 点 A…3 点 B…2 点 C…1 点として各科目の GP を計算します。

- (1) 学期 GPA = 
$$\frac{\text{(当該期に評価を受けた科目の GP} \times \text{その科目の単位数) の合計}}{\text{当該期の総履修登録単位数}}$$
- (2) 通算 GPA = 
$$\frac{\text{(各学期に評価を受けた科目の GP} \times \text{その科目の単位数) の合計}}{\text{各学期の総履修登録単位数}}$$

GPA は何に使われるのか？

- ・履修登録の制限 (キャップ制)
- ・奨学生の審査

- ・卒業時の表彰(学長賞、本願寺賞、日本仏教保育協会賞、全国保育士養成協議会賞、特別賞)
- ・特待生推薦合格者が有する入学特典の見直し(1年次)
- ・卒業判定(通算 GPA1.0 以上)

※通算 GPA が 1.0 未満で卒業保留となった学生については、所属する学科において課題を課し、当該学生の所属する学科長がその結果をもとに学科会議で卒業の可否を検討することとなっています。

(GPA 算出除外科目)

- ・GPA の計算時点で評価が出ていない科目
- ・入学前の既修得単位等の認定により単位が認定された科目

(再履修等における GPA の取扱い)

不合格の科目を再履修した場合、その可否に関わらず、再履修で得た評価は通算 GPA には算入する。再履修前の評価を通算 GPA から除外しない。

### 3. 単位数登録の上限 (CAP 制)

本学では、学期毎に登録できる単位数の上限を設けています。それが CAP 制です。登録単位数の上限は、1年間で50単位、1学期間で25単位を基準としています。

(登録単位数の上限から除くことができる科目)

- ・免許・資格に関する専門教育科目
- ・長期休暇期間に開講される科目
- ・単位互換制度により提携した他大学等の科目

(登録単位数の上限についての特例)

- ・直前学期の GPA が 2.5 以上の者
- ・2年次に単位数の上限まで履修しても卒業要件単位数に達しない場合
- ・学科長が教育上有益と認めた場合

※過度な履修登録にならないよう、バランスよく授業計画を立て、質の良い評価を取得できることを目的としています。また、履修登録をする際に、シラバスに記載してある授業を受講するための事前事後学習や、授業の到達目標、学習方法をきちんと確認してください。

### 4. 再履修について

履修した結果、評価において不合格(「D」、「失」となっている科目は再度履修することができます。ただし、その科目の開講時期によっては再度履修することができない場合があります。また、既に単位を修得した授業科目を再度履修しても、単位を認定することはできません。